

令和5年度 第2回 諫早市社会教育委員会議 議事録

日 時： 令和5年10月25日（水） 15：00～16：00

場 所： 諫早市役所 8-1会議室

出席者：【社会教育委員】

平山仁委員、池田雅英委員、石丸民世委員、平古場信一委員

日野涼子委員、高戸幸恵委員、西川亨委員

※欠席委員：西山敏明委員、松山綾委員、菅原良子委員

【事務局】

石部邦昭（教育長）、竹島健吾（生涯学習課長）、佐藤亨（同課長補佐）

山下美喜夫（同参事補・指導主事）、麻生春奈（同主任）

※教育長と生涯学習課長は、10月定例教育委員会に出席につき、会議前に退席

会 議：（1）議長選出

— 平山委員に決定 —

（2）職務代理者の指名

— 西山委員に決定 —

（3）議事録署名人の指名（第2回会議）

— 西川委員に決定 —

議 事：（1）社会教育委員について

（2）生涯学習課の施策について

（3）令和4年度社会教育委員会議の総括について

（4）今期社会教育委員のテーマについて

（5）その他

(議長)

それでは本日の議事に移ります。まず議事(1)「社会教育委員について」事務局より説明をお願いします。

(生涯学習課課長補佐)

— 資料「社会教育委員について」に基づき説明 —

- ・社会教育委員とは
- ・社会教育委員の職務
- ・条例、規則

(議長)

只今の説明に対して質問はありませんか。

なければ次に、議事(2)「生涯学習課の施策について」事務局より説明をお願いします。

(生涯学習課課長補佐)

— 第3期諫早市教育振興基本計画に基づき説明 —

- ・「施策の体系」より生涯学習課の施策
- ・重点施策「地域が人を育み、人が地域を育む好循環のシステムづくり」

(議長)

只今の説明に対して質問はありませんか。

なければ次に、議事(3)「令和4年度社会教育委員会議の総括について」事務局より説明をお願いします。

(生涯学習課課長補佐)

— 資料に基づき説明 —

- ・第1回会議の議事「令和4年度社会教育委員会議(審議内容)のまとめ」

(議長)

只今の説明に対して質問はありませんか。

それでは次に、議事（４）「今期社会教育委員のテーマについて」本日の本題となります。

これは、今期２年間を見通して私達が何を話して一緒に共有していくのか、テーマを決めていこうというものです。もうコロナが明けて元に戻ろうとしていると言いながらも、コロナ前とは違うことをやろうというのも皆さんの地域でも気になっているところだと思います。そこで私達委員で意見を出し合って、少し作業を進めていただくかなと思っています。１人１人にご意見を言うていただくのもいいと思うんですが、私達は社会教育委員なので、ちょっとスタイルを変えて、２つのグループに分かれて話をさせていただいて、グループ１で出た意見と、グループ２の意見を事務局でまとめてもらい、そのあとに少しミーティングの時間を持ちたいと思っています。

中身は、社会教育委員として諫早で今気になっていること、２年後にはこんなふうにしたいといった諫早の方向性について、単語でかまいません。例えばSDGsが大事であるとか、通学合宿の実績をもっと増やすとか、あるいは今の状況では駄目だとか、必ずしもプラスの方向ばかりではなくてもいいです。ただしマイナスの方向ばかりだと暗くなるので、できるだけプラスを見るような方向で話をさせていただき、そして事務局から報告をしていただいて、それをまたみんなで揉んで形にしていきたいと思えます。

では、これから始めてください。

— グループ１・２に分かれて意見交換（約７分間） —

（議長）

それでは、まずグループ１から出された意見を事務局にまとめていただいてよろしいでしょうか。

（生涯学習課参事補）

まず気になるという点では、子どもが自分の校区というか地名を知らない。それよりも自治会名を知らないというぐらいに、ちょっと地域のことを分かっていないのかなと感じたということです。通学合宿の実行委員が２人、見学に行かれた委員が１人、このグループにはそういう３人が集まっていたので、通学合宿のような活動は地域を知るためにはとても良いものであるという話が出ました。

しかし、地域のボランティアの高齢化が進んでいるということで、そこから２年後にこんなことをしたいと出てきた意見が、まず大人と子どもが関わる場所や機会を作

っていきたい、増やしていききたいということでした。それを踏まえた上で、世代交代
というか世代の引き継ぎというものが必要になってくる。例えばどんなところでそう
いう大人と子どもが関われる場所を作れるかというのを幾らか出してもらったとこ
ろ、通学合宿、子ども会の取組、鬼火、あとは伝統芸能を引き継ぐようなそんな場所
が出ました。公民館講座でもそういったものを取り上げてもらい、例えばファミリー
プログラムを使った講座をしていただくのもいいのではないかという意見も出まし
た。

(議長)

はい、ありがとうございました。

次にグループ2のまとめについて、事務局よりよろしく申し上げます。

(生涯学習課主任)

先ほどグループ1から出た意見にもあったように、高齢化とか組織力の低下とかあ
ったりして、地域の子ども達が地元のことを知らないという意見が上がっていました。
また学校の方は、子ども達に積極的に対応していただいております、地域の方をゲストに
呼んだり、挨拶を返してくれたりしているんですが、気になるところとしては、大規
模校と小規模校のまともりはどうなっているのかなというところですね。大規模校では
大きいのでそれだけ挨拶とかしてくれているというのはあるんですけど、小規模校の
方が通学合宿にはたくさん応募してくれたりしているところもあって、そこが気にな
るという意見が出ていました。

2年後にこうしたいという意見のまとめまでにはたどり着けなかったんですが、婦
人会などは高齢化によって、子ども達と対等に遊べなくなっているということで、新
規の会員とか後継者を作りたいという話が出ていました。

その後、もう一度気になるということで、防災無線を使って子どもの球技大会で審
判をやれないかと呼びかけるなど、今までのしがらみ通りにやっていることが本当に
いいのかということを考える時期なのかなという意見も出ました。

(議長)

はいありがとうございます。

様々な意見が出されていて、やっぱり変革期に来ているのかなと感じました。子ども
達も変わろうとしているし、先ほどのコロナ禍前と後で同じような内容なんだけど、実

際は少し違う部分があったり、小船越地区でさえ、前とは違うということを強く感じておられる委員がいたことが私にはすごく印象的でした。

(議長)

今出された意見を少しまとめて、事務局と私と副議長で、方向性を少し決めて皆さんにご提案するというような形でまとめさせていただいてよろしいでしょうか。

— 一同了承 —

では、そういう方向で今後の第3回会議に提案するということをもって進めさせていただきます。では、最後の議事「その他」について事務局からお願いいたします。

(生涯学習課課長補佐)

先ほどの資料説明の中でも触れましたように、次回の定例会は12月ですが、詳しい日程については議長と調整しながら、決まり次第に皆様の方にお知らせしたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

次に、追加でお配りしている資料について説明いたします。

(生涯学習課課参事補)

— 資料：「令和5年度地域学校協働活動実践交流会および第2回新放課後子供総合プラン指導者研修会」について説明 —

(議長)

はいありがとうございました。皆さんから他に何かありませんか。なければ私から1点だけお願いします。

この後、教育委員との意見交換会があって、意見交換のテーマについては、皆様に通知があったように、「地域の子どもは地域で育て、そこで育った子ども達が将来、その地域の子どもを育てる」というテーマなんです。人数的に教育委員と社会教育委員の割合が大体1対2ぐらいなんで、向こうが講釈2回分を1人で話すとしたら、こちらはその1回分を1人というような感じで、ちょっと一人一人に触れる回数が、少なくなるかもしれないと思うので、皆さんにはこれだけは言うておこうというところを考えておいていただければと思います。

特に社会教育委員の皆さんには、自分の団体では、今までこんなことをやって地域の子供を育ててきたんだぞというような事例を少し具体的に発言していただければどうかなというふうに思います。

両方の意見を出し合っただきながら、大人が子育てにどう関わっていけばいいのかとか、そこから諫早市の教育施策はどういう方向に持っていったらいいのかみたいなものも出たらいいのかなって思うし、その後は教育委員会・教育委員の方で検討してくださいと投げ掛けていいのかなと思っています。

私ども社会教育に関係する部分を、また経験されていることをこういうふうに進めているんだってことに刺激を受けて、想像していただければいいのかなと思うので、この後、私がまた司会をしますので、ご協力いただければと思います。

私の方から以上です。後は事務局をお願いします。

— 終 了 —